

放課後教室15日から

音更 ボランティアが研修

【音更】音更町の放課後子ども教室に協力する見守りボランティアの研修会(町教委主催)が7日、町役場で開かれた。放課後教室は町内の全11小学校に開設。15日の柳町小から今年度の活動がスタートするのを前に、子どもとの接し方や関係職員間の協力の重要性を学んだ。

放課後教室は2016年



見守りボランティア研修会で講話する白石専務理事

度から、各小学校に順次開設された。今年度から全小学校で月1、2回活動する。体育館を利用し学習するほか、バドミントンやフライングディスク、折り紙、塗り絵など複数のメニューの中から子どもたちが選び活動する。

運営には、町教委とNPO教育支援協会北海道(帯広)の職員に加え、見守りボランティアも携わる。ボランティアは、新規5人

を含む17人が登録している。

研修会には計19人が参加し、同NPOの白石友柄専務理事(48)の講話を聞いた。白石専務理事は「運営する私たちが意見を出し合っただけで良い関係性を築くことは、子どもたちが楽しく仲良く過ごせる息抜きのある場につながる」と呼び掛けた。

19年度からボランティアとして活動する九本孝子さん(75)は「子どもたちと触れ合うことで、元気をもらい気付けられることが多い」と話していた。

町教委は、ボランティアを募集している。問い合わせは町教委生涯学習課青少年係(0155・42・2111内線775)へ。

(長瀬聡美通信員)